



おぐくに議会だより

第28号

平成29年8月10日

○平成29年6月定例会
○町政を問う(一般質問)

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1

TEL. 0967-46-2119

条例の改正

○小国町税条例の一部改正

固定資産税の課税標準の特例措置
(わがまち特例)

○小国町税特別措置条例の一部改正

過疎地域内における固定資産税
の課税免除の対象となる事業につ
いて、ソフトウェア業を除き、農林
水産物等販売業を加えるもの



6月定例会の様子

○小国町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

経営基盤の強化を目的に、料金引上げを行うもの

○小国町浄化槽市町村整備推進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

農業集落排水処理区域内の未整備区域の処理料金も、上記と同様に引き上げを行うもの

小国町総合整備計画の策定

○小国町総合整備計画(辺地計画)の策定

平成29年度から平成33年度までの小国町総合整備計画(辺地計画)を策定し、財政上の特別措置を受ける為議会の議決を受けるもの

補正予算

○平成29年度小国町一般会計補正予算(第1号)

4,981万円を追加し、総額29億241万円とするもの

■主な内容

議員報酬(発議により、全議員の報酬を5%カット)
221万円減、人事評価システム導入委託、地方創生
推進交付金広域連携事業負担金、環境番組作成業
務委託、啓発事業コーディネイト委託、農業委員会
委員等報酬、攻めの園芸生産対策事業補助金、地方創生拠点整備事業測量設計
委託料、特用林産物施設化推進事業補助金、公立社会教育施設災害復旧工事他



小国ドーム

○平成29年度小国町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

保険料還付金 14万円

農業委員会の委員の任命

農業委員会8名の委員の同意を議決(任期は3年)

安武 聖さん(宮原) 松岡 克明さん(上田) 佐藤 博義さん(北里) 穴井 千年さん(西里)
佐藤 仲子さん(西里) 宮崎 博美さん(下城) 石松 雄平さん(黒淵) 梅木 美代さん(黒淵)

発議

議会活性化推進特別委員会設置に関する決議
 ゆうステーション周辺整備特別委員会設置に関する決議

請願

熊本地震被害者の住宅再建に関する請願書が提出され、賛成多数で可決。後日、熊本地震被害者の住宅再建に関する意見書も採択されました。

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井	大塚	北里	高村	児玉	時松	穴見	松崎	熊谷	時松	松本	
				帝史	英博	勝義	祝次	智博	唯一	俊一	博行	昭弘	明雄		
5月臨時会	承認第1号	専決処分事項の承認(小国町税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	承認第2号	専決処分事項の承認(小国町国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第29号	小国町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	
6月定例会 (6月14日～16日)	議案第30号	小国町税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第31号	小国町税特別措置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第32号	小国町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	議案第33号	小国町浄化槽市町村整備推進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	議案第34号	小国町総合整備計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第35号	平成29年度小国町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第36号	平成29年度小国町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意第4号～第11号	小国町農業委員会の委員(8名)の任命について	全員同意	全員賛成並びに賛成多数											
	発議第3号	議会活性化推進特別委員会設置に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第4号	ゆうステーション周辺整備特別委員会設置に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	熊本地震被害者住宅再建に係る請願書について	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	
7月臨時会	議案第37号	小国町簡易水道特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第38号	小国町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成29年第2回臨時会 平成29年5月11日

■5月11日(木)午前10時から小国町隣保館で臨時議会が開催され専決処分の承認が2件と農業委員の定数を減らす条例(11人から8人)が提案され、専決処分の承認(2件)については全会一致で、農業委員の定数を減らす条例については賛成多数で可決されました。

また、2年任期の各常任委員会と議会運営委員会の委員の構成も新しくなりました。



臨時議会の様子



小学校部活動の 社会体育移行は

児玉 智博

【局長】小学校部活動の平成31年度までの社会体育移行が県の方針だが、教育長は30年度に一部を移行するとしている。保護者の中から不安の声も聞かれる。まず、部活動は放課後、一旦帰宅した後になるかと思うが、送迎は誰の責任になるのか。

【局長】交付税の関係でスクールバスの利用は難しいかもしれない。その場合は、保護者による送迎が中心となると考える。

【局長】現在の部費は年千〜2千円だが、保護者負担はどうなる。

【局長】なるべく負担が増えないよう工夫したいが、指導者への謝礼が発生した場合、増える事も考えられる。既存のクラブの月謝や入会金も参考にしたい。

【局長】社会体育移行の目的の一つは多くの児童がスポーツに触れるようになるためだ。家計負担の増はこれに逆行する。現在の部費水準を基準に考えるべきではないか。

【局長】種目や指導者も具体的に



小学生の部活動

決まっていないので、運営費がいくら掛かるかも全然分からない。現段階でいくらとは言えないが、なるべく安く出来ればと思う。

【局長】部活動は運動の機会の確保のため、放課後の過ごし方を考える上でも重要だ。まだ何の課題も見えていないような状況で、前倒ししてまでの移行は止めるべきだ。



観光の振興と殿町復興

松崎 俊一

【局長】全国各地の観光地の情報の中に、5時間滞在するような観光案内があった。観光客が長い時間滞在すれば食事や宿泊につながると思われる。小国町で考えれば、近隣の観光地や観光スポットなどと連携した取組みが必要ではないか。

【町長】小国郷、また大分を含めた観光地との連携を図りたい。

【町長】次に、ゆうステーションを基点としたウォーキングは魅力があると思う。鍋ヶ滝まで歩くことも楽しいだろう。ウォーキングイベントの開催や健康ウォークの取り組み、ライトアップなどの仕掛けが観光振興につながると思われるが。

【町長】小国町の「アクティビティ商品開発と併せて検討していく。次に殿町の火災跡について、殿町地域では「花いっぱい運動」が行われている。今後、民間の資金や活力を利用した取り組みを期待したい。

【町長】花いっぱい取り組みは



殿町「花いっぱい運動」

※「アクティビティ」とは、体を動かした遊びや体験、交流などを行うこと

承知している。所有者の方々や、住民の方々の考えも聞きながら、慎重に考えていきたい。



町道の維持管理等について

高村 祝次

【建設課長】町道の維持管理においては、日頃から地元住民の協力を得て行われていることに感謝している。補修に関しては、早急な対応、中長期的な対応、という2通りの管理方法で臨んでいく。また道路状況の把握として、町民からの通報、管理・パトロールの定期、不定期な実施。職員の現場への移動の際における道路状況の把握に努めている。

【建設課長】町道の維持管理においては、日頃から地元住民の協力を得て行われていることに感謝している。補修に関しては、早急な対応、中長期的な対応、という2通りの管理方法で臨んでいく。また道路状況の把握として、町民からの通報、管理・パトロールの定期、不定期な実施。職員の現場への移動の際における道路状況の把握に努めている。



補修した町道

る。財源としては、町の一般財源をはじめ、国の社会資本整備事業交付金等を活用し行う。橋梁においても点検、調査を実施、ランク付けを行い管理し、改築、修繕等の保全に対応する。

【建設課長】町道の維持管理においては、日頃から地元住民の協力を得て行われていることに感謝している。補修に関しては、早急な対応、中長期的な対応、という2通りの管理方法で臨んでいく。また道路状況の把握として、町民からの通報、管理・パトロールの定期、不定期な実施。職員の現場への移動の際における道路状況の把握に努めている。

【建設課長】町道の維持管理においては、日頃から地元住民の協力を得て行われていることに感謝している。補修に関しては、早急な対応、中長期的な対応、という2通りの管理方法で臨んでいく。また道路状況の把握として、町民からの通報、管理・パトロールの定期、不定期な実施。職員の現場への移動の際における道路状況の把握に努めている。



町の景観と、水害防止策

熊谷 博行

【建設課長】河川掘削の事だと考える。毎年河川に限らず当初要望という形で県に要望書を提出している。

【建設課長】河川掘削の事だと考える。毎年河川に限らず当初要望という形で県に要望書を提出している。

【建設課長】小学校下の宮向線の話だと思う。昔は、桜並木がきれいで春には花見で賑わっていた。今は、一部枯れた立木も見受けられる状況だ。今後、景観整備については、内部で協議したい。

【建設課長】小学校下の宮向線の話だと思う。昔は、桜並木がきれいで春には花見で賑わっていた。今は、一部枯れた立木も見受けられる状況だ。今後、景観整備については、内部で協議したい。

【教育委員会事務局】只今の質問の側溝の管理は、出来ていないと考える。全ての施設を確認し早急に対応する。

【教育委員会事務局】只今の質問の側溝の管理は、出来ていないと考える。全ての施設を確認し早急に対応する。

【教育長】給食センターオープン当初は、炊飯に慣れない理由で週3回はパン食だった。現状では、週3・5回米飯、1・5回パン食である。

【教育長】給食センターオープン当初は、炊飯に慣れない理由で週3回はパン食だった。現状では、週3・5回米飯、1・5回パン食である。

【教育長】現在のところ地産地消の割合は、把握していない。地産地消については、今後とも取り組んでいく方向だ。

【教育長】現在のところ地産地消の割合は、把握していない。地産地消については、今後とも取り組んでいく方向だ。

【教育長】現在のところ地産地消の割合は、把握していない。地産地消については、今後とも取り組んでいく方向だ。



小国町の行財政改革と 人事評価について 北里 勝義

町長は、平成17年度に「第2次小国町行政改革大綱」を策定し、効果的な行政運営や行政サービス向上などの行政改革を集中改革プランに掲げ進めてきた。この主な取組みとして

- ① 職員の意識改革について
- ② 適正な定員管理の推進について
- ③ 公共施設の管理運営の合理化について
- ④ 財政の健全化について

など進めているが、取組の現状と課題について、また普通交付税の算定において、行政改革などの経営努力が反映される仕組みとなつている。そこで町は「第3次小国町行政改革大綱」策定し、町民と職員一体となつて行財政改革に取り組むべきだと思ふが町の考えは。

【町長】取組の現状と課題については、それぞれ答弁をいただきたい。また今後の行財政改革の取組みについては、新たな行政改革プランを策定するかを含め、内部で協議しながら検討したい。



小国町役場

町人事評価制度は、目的や理念を明確にして、それを職員に伝えていかないと逆効果なる場合もあると思う。人事評価を職員のモチベーションアップに繋げていかなければと思うが、職員の育成の観点から町長はどのように考えているか。

【町長】事務系、事業系それぞれ異なる分野であり、人を評価することは難しい。公平・公正な評価を大事にしながら人材育成に努めたい。



鍋ヶ滝への案内板設置の 考えは 大塚 英博

町観光名称として知名度が高い鍋ヶ滝だが、国道212号線から黒淵線に入る付近には、道路標識版がない。早急な対策が必要だと考えるが。

【町長】観光看板という形で町内の茶色の看板があるが、鍋ヶ滝という方面がわかる様な部分は今後、検討していく。

町地域おこし協力隊について、3年の任期後は定住に向けた取組みを考えているか。また、充分に能力、技術が生かされているか。

【町長】両温泉地で、観光地でのイベント等のアイデアを出して頂く事。移住定住の業務に木魂館と役場との連帯を持って活躍して頂く事。デザインをされている方には、ジャージー製品のデザインを考案して頂く事等技術を生かした活動をお願いし結果も出ている。

町足元道路とは言えないが、実際に通学路や、不特定多数の人々が使用している里道の道路

補修や改善についての取り組みが行政では出来ないのか。

【総務課長】町としては補助を付けて対処していかないのが現状だ。現在、一番該当する支援策は、材料支給という形での対処方法になる。



鍋ヶ滝



非常勤職員の処遇改善について

時松 昭弘

町長 町自治法改正が今年5月11日に成立した。当町は、平成12年当時は定数に対して169名の職員。その後、定数の見直しがあり現在は119名、非常勤、パート職員の方が85名と聞いている。今回の法律改正は、2020年の4月から施行されるが、自治体の非常勤職員の任用実態が規定と違っている。そこで新たに期限付き任用である会計年度任用制度を申請すれば、非常勤職員への給与・手当の給付が可能となるが町長の考えは。

町長 【町長】多様化する業務を行うには正職員では足りない。法律に従って行かなければいけないと考える。

総務課長 【総務課長】職務の改善と言う形で国の支援に基づいて方針を固めて行く必要がある。

町長 【町長】しつかり考えながら行っていく。

町長 【町長】しつかり考えながら行っていく。



城山大神宮

町長 町地震後、宮原の城山神宮は山腹に亀裂が生じ、災害が発生する危険性があると地元からの要望も出ていると聞いている。現在、この城山には林道を作る計画があり、林道の終点から現場までは約50メートル程になると思うが、工事終了後改修計画は。総務課長 【総務課長】事業で採択されない部分は復興基金等で地域コミュニティの支援等で該当するのではないかと考える。

町長 町関係者の方々と検討して頂きたい。



防災マップの作成は

穴井 帝史

町長 町土砂災害防止法の改正に伴い、危険箇所のハザードマップの作成公表が義務づけされたことを受け、今後防災マップにどのように反映していくのか。

総務課長 【総務課長】県と合同で町内で説明会を行った。今後の土砂災害の対応は、イエローゾーン・レッドゾーンといった区分けで防災マップを作成し、各戸に配布、又事業所・公民館に備え活用に努めたい。

町長 町指定避難所については、質問したい。熊本地震においては、指定避難所の耐震化がなく避難所として機能しなかった所もあると聞いているが、今後の対応はどうするのか。

総務課長 【総務課長】今回避難所を移動した地区もあり、このことも踏まえ平成29年度復興街づくり計画を進める予定である。その中で耐震化を重点とし、避難所等の優先順位等を考慮した中で順次進めていく。

町長 【町長】耐震化を満たしていないのが現状だ。今後は財源等を



旧北里小体育館

町長 町総務課長 【総務課長】この件は県の地域防災計画の中にもうたわれており、本庁舎が被災した場合新しい開発センターが出来るまで間の事も考えなければいけないが、現段階では明確ではない。

町長 【町長】今回避難の案内が少し変わり、避難準備情報・避難勧告・避難指示となった。日頃からの連携を心掛けたい。



夜間の自衛隊緊急ヘリ要請

松本 明雄

【町長】従来から小国町自体では防災ヘリによる昼間の急患・重病患者のヘリ搬送などがあったために現在のところ要望はしていない。

【総務課長】一步でも前進していくように働き掛けが必要と考えている。

【町長】建物が老朽化しているのは事実だ。設置されてからの期

間もそのとおりである。意識的にその問題共有をすべきであると認識している。



小国公立病院

平成29年第3回臨時会 平成29年7月31日

■7月31日(月)午前10時から小国町森林保全センターで臨時議会が開催され、平成29年度小国町一般会計補正予算(第2号)及び小国町農業集落排水事業特別会計補正予算が上程され全会一致で可決しました。

一般会計の補正では、林業費の緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金や治山事業費の災害復旧工事、道路維持費の修繕費が主なものです。

また、農業集落排水事業特別会計では、ポンプの取り換えや敷設替えが主な補正内容です。

議員勉強会 平成29年5月19日

■5月19日(金)午前10時から小国町隣保館で議員勉強会を開催しました。勉強会では小国町議会議員の政治倫理条例についての話し合いが行われました。

また、勉強会終了後には南阿蘇村と南小国町の議場の視察を併せて実施しました。



議員勉強会の様子



視察の様子(南阿蘇村議場)

全員協議会 平成29年6月8日

■6月8日(木)午前10時から小国町隣保館で第7回全員協議会が開催され、執行部から①6月議会に提案予定の条例や補正予算についての報告②総合整備計画(辺地計画)についての報告③公共施設等総合管理計画についての説明がありました。



全員協議会の様子

平成29年 第3回 開発センター建替え検討特別委員会 平成29年6月14日



開発センター建替え検討特別委員会の様子

■6月14日(水)の本会議終了後に開発センター建替え検討特別委員会が開催され新しくなる議場内の設備についての審議が行われました。

平成29年 第1回 議会活性化推進特別委員会 平成29年6月14日

■6月14日(水)の開発センター建替え検討特別委員会終了後に議会活性化推進特別委員会が開催されました。この委員会は、本会議で議員発議により設置する事が決定しました。今後は、議会が活性化していく為の話し合いが進められていきます。



議会活性化推進特別委員会の様子

編集後記

熊本地震から一年が過ぎ、復旧も進んでる中、次は、福岡・大分豪雨災害が発生し、わが町も多少の災害が発生している状況です。昨年同様、雨の多い梅雨でしたが、どうにか梅雨明け発表もあり、今から夏本番です。暑い季節到来ですが、小国の夏は短いので有意義にお過ごし下さい。

私たち、広報委員も三年目に突入し、もう少し内容のある議会だよりをと毎回考えています。次回は、町民皆さまが興味深い旧開発センター建替えの方向性など色々あると思います。楽しみにご期待を。今後の『議会だより』につきましても皆さまのご意見、ご要望を賜り、編纂に広報委員一同頑張つてまいります。(熊谷 博行)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長	熊谷 博行
副委員長	穴見まち子
委員	松崎 俊一
委員	穴井 帝史